

平成27年度第2回事前評価結果一覧表（8月実施分）

番号	課名	評価対象事業名称	事業の概要	2次評価	事業の方向性	概算事業費
1	総務課	観光・防災Wi-Fiステーション整備事業	・必要な観光・防災拠点19箇所へ、誰もが無料で利用できる、公衆無線LAN（Wi-Fiフリースポット）の無線APを設置する。	世界遺産登録へ向けた情報及び島内の魅力ある観光地を効果的に発信するため必要な事業であり、また、地域住民の災害対応体制の準備を図るものとして必要と判断する。事業実施にあたっては内容等を十分に精査し、経費の削減に努めること。（事業実施は総務省の補助事業の採択を条件とする）	計画どおりに事業を実施する	10,080千円
2	水産課	奈摩地区水産物荷捌所・漁民研修集会施設屋上防水改修事業	・奈摩地区水産物荷捌所・漁民研修集会施設の屋上防水シートの改修を行う。 →既存塗膜除去 207.8㎡ →ウレタン塗膜防水（通気緩衝工法） 111.0㎡ →ウレタン塗膜防水（密着工法） 96.8㎡	本施設は、文化等の各種教室、交流の場として使用されているとともに、災害時の避難場所として指定されていることから、施設の適正管理や機能を果たすため必要と判断する。	計画どおりに事業を実施する	2,918千円
3	水産課	白浜地区野営場等臨海休養施設防護柵設置事業	・「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録に向け、観光客等の安全確保と景観向上のため、野営場にフェンス設置を行う。 →イノシシ侵入防止フェンスの設置 L=84.0m	本事業は県補助金を活用し、世界遺産登録に向け、景観の向上と安全確保のため実施するものであり必要と判断する。	計画どおりに事業を実施する	1,462千円
4	水産課	崎浦漁港費用対効果分析調査事業	・崎浦漁港の浮体式係船岸設置のための費用対効果分析を行う。 →費用対効果分析調査委託 1.0式	地元住民や漁協からの設置要望に伴い、漁港や漁場整備の効果を直接把握するため、水産基盤整備事業の事業評価制度のなかで実施するものであり、よりの確な事業計画の策定や意義を適切に評価しなければ浮体式係船岸等の整備ができないため、実施の必要性は適切と判断する。	計画どおりに事業を実施する	1,800千円
5	水産課	浜串地区製氷施設整備補助事業	・浜串地区は製氷施設が整備されていないため、他の漁協から購入している状況である。このため、施設整備を行う浜串漁協に対し補助金を交付する。 →製氷施設整備 1.0式 製氷能力1トン/日 貯氷能力 2トン	製氷施設を整備することにより、漁業者の不便を解消し、漁獲物の鮮度維持など漁協の経営改善に寄与するものであると判断するが、事業実施にあたっては、県補助の採択を要件とする。	計画どおりに事業を実施する	4,500千円
6	農林課	メル・カピィあおかた倉庫増築事業	・農産物の出荷・販売を効率的に行うために倉庫を増築し、暴風雨対策として、通路に扉を設置する。 →倉庫増築（8.1㎡） →引込み戸設置	本施設は、地元の少量多品目生産の特徴を活かし、直売所を通じて消費者に農産物を提供することにより、多くの観光客や地元の消費者が集まり、生産者と消費者の交流が図られている施設である。地産地消の推進や農家所得の向上など、生産者及び消費者等の利便性を図るため必要な事業であると判断するが、道の駅の候補地としての計画もあるため、将来的な施設の整備計画など有効的に利用が図れるよう、事業の内容及び事業費について協議、検討を行うこと。	事業内容を見直して事業を実施する	796千円
7	文化財課	鉄川與助居宅跡整備事業	・鉄川與助の功績を称えるため、居宅跡に看板等を設置する。 →敷地の整備 1.0式 →煉瓦塀の修復 1.0式 →案内看板の設置 9枚 →ベンチの設置 3台	世界遺産構成資産候補の教会堂をはじめ、数多くの教会堂建築に関わった功績を称え、町内外の人々に情報発信していきたいという趣旨は理解できるが、今後の世界遺産登録を見据え、住民を含め多くの観光客等に利用してもらおう施設として機能するのかなど、観光担当課等と十分に協議、検討を行うこと。	事業内容を見直して事業を実施する	8,540千円